

大胆に挑戦。
誠実に実現。



横浜市議員

仁田まさとし



参議院議員

松あきら

YOKOHAMA 21 横浜21ビジョンの策定進む

人口減少社会に対応する本格的プラン

公明党の横浜市選出の市議員、県議会議員でつくる「横浜ビジョン検討委員会」は、今年秋の発表を目標に、21世紀の横浜の進むべき方向性を示した「横浜21ビジョン」の検討を進めています。

このビジョンは、人口減少時代における大都市の行政・社会のあり方を示す、日本でも初めてのプランとなるものです。

急速な少子高齢化をとまなう人口減少時代にあって、子どもや高齢者、そして女性がイキイキと個性を伸ばしながら暮らせるよう、日本の社会を再び大きく開化させる“新たな人の生き方とまちのあり方”を、文明開化の地である横浜市民の皆さんに提案します。さらに、それを実現するための施策化のモデルを、全国に先駆けて発信したいと考えております。

【ビジョン策定の基調は4面に掲載】

大胆に挑戦。
誠実に実現。



横浜市議員

に つ た

仁田まさとし

仁田まさとしは、着実の人。有言実行の誠実の人。

いま、南区の暮らしが求めている

いくつもの課題の実現へと確実につなげます。

Profile○昭和31年8月横浜市に生まれる○昭和44年3月横浜市立大岡小学校卒業○昭和47年3月私立浅野中学卒業○昭和50年3月私立浅野高校卒業○昭和54年3月横浜国立大学工学部卒業○昭和54年4月株式会社巴川製紙入社／技術研究所及び化成品事業部(当時)にて、記録材料関係の研究開発に従事○昭和62年3月同東京本社勤務○新規事業の企画立案と事業化に従事。電子情報通信学会会員、画像電子学会論文編集委員を歴任○平成6年11月株式会社巴川製紙退社○平成7年4月横浜市議員に初当選(現在三期目)

●横浜市会においては、経済港湾委員会委員長、接收解除特別委員会委員長等を歴任。現在、横浜市会運営委員会副委員長。道路・安全管理委員会および青少年市民スポーツ特別委員会委員。●党においては、現在、公明党神奈川県本部副幹事長、同企画局長、同横浜第四総支部長。●社会福祉法人理事、元横浜市立六つ川西小学校PTA会長。●妻・2女1男・父母の7人家族。

仁田まさとしの有言実績

民間住宅あんしん入居事業

高齢者・障害者は、民間賃貸住宅への入居を断られるケースがあり、家主さんの不安を軽減するために「家賃保証」と「居住支援」を行う「民間住宅あんしん入居事業」を実現しました。

<仁田まさとしの指摘>

(平成7年第3回定例会一般質問)

公的な保証制度など何らかの対策を検討すべき。



ふれあい収集

家庭ごみ等を集積場所へ持ち出すのに困難な高齢者や障害者のお宅から、持ち出しを支援する「ふれあい収集」を実現しました。平成13年、戸別収集を実現する会の代表とともに17万人の署名を添えて要望書を横浜市長に提出しています。

<仁田まさとしの訴え>(平成15年環境事業緑政消防委員会)

高齢者・障害者への戸別収集については前向きに検討していただいていると思いますが、ぜひ結論を出していただきたい。



犯罪・防犯情報のメール配信

空き巣、ひったくり、車上ねらいや放火などの犯罪発生情報や防犯情報を南区役所からメール配信するサービスが始まっています。

<仁田まさとしの提案>(平成17年市会第1回定例会)

パソコンや携帯電話を活用して

防犯情報を積極的に発信すべき。



登録用QRコード



<豊富な実績>

- ・小児医療費無料化の年齢引き上げ(5歳まで)と所得制限の緩和
- ・放課後キッズクラブの創設
- ・アレルギーセンターの整備
- ・小児救急医療体制と救急電話相談の拡充
- ・徘徊高齢者等探索保護支援事業(ミナミあったかコール)
- ・市営地下鉄駅(阪東橋、弘明寺、吉野町)の防火対策
- ・安全灯の設置
- ・地域防災拠点へデジタル移動無線の整備
- ・横浜型知的財産戦略の推進
- ・住宅用太陽光発電システム設置の促進など…。



仁田まさとし 7大重要政策

1. 出産と子育て支援

- * 出産環境の整備を図ります。
- * つどいの広場などの親子の居場所や認定こども園の整備を推進します。

2. 環境の積極的創造

- * 家庭用燃料電池など新エネルギーの普及を促進します。
- * エコポイントが蓄積される「エコハマカード」(仮称)の導入など、エコライフを推進します。

3. 人とまちの安全保障

- * 「子どもの安全」を所管する機構を整備します。
- * 地域防犯拠点を各区一カ所以上整備します。

4. 地域で共に支える福祉

- * 小規模多機能型居宅介護拠点の整備を促進します。
- * 精神障害者の生活支援センターの整備を促進し、ピアカウンセリングの充実を図ります。

5. 着実な地域経済

- * 横浜型債券市場を拡大します。
- * 商店街空き店舗などを活用しコミュニティビジネスの起業を促進します。

6. 教育のための横浜

- * 地域特性に応じた教育を進める仕組みを整備します。
- * 文字活字文化の醸成と、小学校への英語教育を進めます。



7. みなみ「さ」「く」「ら」プラン

- さ 坂のまちの高齢化に対応した“やさしいまちづくり”
- く 区総合庁舎再整備を契機に“安全なまちづくり”
- ら ライフスタイルに応じた“緑いっぱいのもちづくり”



つどいの広場を訪問



街頭で支援募金の訴え



南区女性セミナーで対談



公会堂で講演



人口減少社会に対応する本格的プラン 「横浜21ビジョン」策定の基調

「横浜21ビジョン」の策定作業にあたっては、以下のような考え方を土台において、中長期にわたる横浜のまちづくりビジョンを提示してまいります。

VISION 1 「子ども達と高齢者が様々な場面で交流するまち横浜」の構築

安心して子どもを育てることができるまち。そして、子どもたちが、個性豊かに、たくましく、自立していけるまち。まず、これをまちづくりの優先課題に据えます。さらに、高齢者の皆さんが、長年培ってきた多種多様な力を、地域や職場で存分に生かしながら、元気に活動できるまち。そんな横浜にしていきます。

次の大事な視点を踏まえ、具体的な施策を検討してまいります。

- 出産前～18歳までを一貫して所管する行政機構を編成し、総合的に施策を策定し、事業を執行できるようにする。
- 高齢者支援施設と子育て支援施設を相互に連携させる観点から整備し、活用の柔軟化を図る。
- 市民として必要不可欠な資質（税、年金などの社会保障、子育て・高齢者支援事業などの知識）の獲得を小・中・高等学校の教育課程の中に位置づける。

VISION 2 「女性が社会のあらゆる分野で活躍できるまち横浜」の構築

現在の経済力と生活レベルを維持するには、女性の潜在力がより開化される社会に変わらなければなりません。社会のあらゆる分野にわたって男女の性差に囚われることなく、個性や能力を重視する働き方への転換をめざします。女性が元気に活躍できているかどうか、女性がリーダーシップを発揮できているかどうか、企業や組織の力量のバロメーターとなる社会。それは、男女がともに育児や介護を担う社会であり、そのためには、企業の就業規則や職場慣行の改革が必要です。

次の大事な視点を踏まえ、具体的な施策を検討してまいります。

- 女性に依存する割合の高かった家事・育児・介護を、新たな先端事業として起業することを積極的に支援する。
- 出産育児をキャリア形成に組み込む資格・学習システムを構築する。

VISION 3 「人と地域の個性を大事にするまち横浜」の構築

誰もが子どもを育て、高齢者を介護する心と時間。知識や技術を学ぶ時間。仲間と共に活動する時間が十分にもてる社会へ。そのためには、職場だけでなく、家庭や地域で、時間を大切にできる働き方や生活の仕方に適合した社会の仕組みに転換しなければなりません。産業界でも、行政においても、新たな制度の設計が、不可欠になります。その際に重要なのは、現在の都市基盤を少子高齢、人口減少社会に適合するよう再構築、再開発することです。それぞれ違う生活様式と経済力を持つ高齢者。その活動範囲は地域です。地域の実情にあった支援が求められます。育児や教育の支援の課題も同じです。そのため、特定分野において行政機能を分散化し、地域の特性に応じた施策を実行できる体制が必要です。

次の大事な視点を踏まえ、具体的な施策を検討してまいります。

- 社会貢献活動の情報発信拠点と多様な活動を促進するための生涯学習機関をネットワーク化する。
- 誰もが、年齢に関係なく、経験や能力を生かした社会貢献（育児支援や介護支援を含む）に参加を促す仕組みを構築する。
- 単身高齢者や高齢者二世帯を、身近な人間関係や地域社会での活動に結びつけるため、都市における高齢者の新しい生活様式を提案する。
- 行政と議会のあらたな関係や役割を提起する。